

## 2014 年度第 3 回環境工学委員会建築設備運営委員会 議事録

- 日時：2014 年 11 月 28 日（金） 17：00-19：30
- 場所：建築会館（東京都港区）
- 出席者：郡公子、（長井達夫）、長谷川巖、赤司泰義、（秋元孝之）、石野久彌、（猪岡達夫）、  
（宇田川光弘）、岡建雄、（川瀬貴晴）、（古賀誉章）、（小林陽一）、（坂上恭助）、佐々木邦治、  
佐々木真人、（佐野武仁）、清水昭浩、（高井啓明）、仲野章生、（中野淳太）、（中山哲士）、  
（永田明寛）、（二宮秀與）、（野部達夫）、羽山広文、細淵勇人、（本間睦朗）、（松本真一）、  
三浦克弘、森川元樹、森本達也、（横山計三）、（吉田治典） （カッコ内は欠席）
- 配布資料
  1. 資料 3-1 建築設備運営委員会 2014 年度第 3 回 議事次第
  2. 資料 3-2 建築設備運営委員会 2014 年度第 2 回 議事録案
  3. 資料 3-3 2014 年度第 3 回環境工学委員会議題
  4. 資料 3-4-1～3-4-6 小委員会設置申請書
    - ・資料 3-4-1 ヒューマンファクターによる環境設計法小委員会設置申請書  
同小委員会、第 8 回議事録案、シンポジウム案
    - ・資料 3-4-2 設計用気象データ小委員会設置申請書  
同小委員会、第 2 回議事録案
    - ・資料 3-4-3-1 環境設備に関する学会基準（AIJES-B0002-2011）の実用化小委員会設置申請書
    - ・資料 3-4-3-2 同小委員会会員外委員委嘱について  
同小委員会、第 6 回、第 7 回議事録案
    - ・資料 3-4-4-1 次世代排水システム適用小委員会設置申請書
    - ・資料 3-4-4-2 同小委員会会員外委員委嘱について
    - ・資料 3-4-5-1 環境建築小委員会設置申請書
    - ・資料 3-4-5-2 環境建築システム刊行小委員会設置申請書
    - ・資料 3-4-6-1 ファサードと環境に関する電子出版検討 WG 設置申請書
    - ・資料 3-4-6-2 同 WG 会員外委員委嘱について
  5. 資料 3-4-7 建築設備運営委員会設置申請書
  6. 資料 3-5-1 第 10 回建築設備シンポジウム 実施結果報告
  7. 資料 3-5-2 第 10 回建築設備シンポジウム アンケート集計結果
  8. 資料 3-5-3 第 10 回建築設備シンポジウム 参加状況リスト
  9. 資料 3-6 2014 年大会若手優秀発表の選考結果（建築設備分野）
  10. 資料 3-7 2015 年大会 OS テーマ案
- 議題
  1. 前回議事録確認（資料 3-2）
    - ・前回議事録の確認をし、訂正なしで承認された。
  2. 環境工学本委員会の報告について（資料 3-3）

- ・大賞候補業績として中原先生が 21 票中 16 票で決定した。今後順番を考慮すると毎年推薦する必要がある。
- ・奨励賞選考委員会候補としては、横山先生にお願いをしたい。事務局から連絡する。
- ・2014 年度大会（近畿）若手優秀発表は 12 名推薦された。年内にホームページで紹介され、本人には A4・1 枚の通知が送付される。
- ・2015 年度大会（関東）の研究協議会のテーマとして「アジア蒸暑地域の未来」が、研究懇談会のテーマとして「若手研究スタイル PART2」として細渕先生が発表される。
- ・2015 年度大会（関東）論文の細分類、細々分類の変更として、「環境設計」から「環境設計とサステナブルデザイン」に変わる。
- ・2015 年度技術部門設計競技については来年度で終了。大会 2 日目に公開審査が日建設計山梨氏により行われる。テーマは「自然採光を積極的に利用したサステナブル建築の「かたち」である。
- ・刊行企画書として『見る・使う・学ぶ・新世代の環境建築システム』が環境建築システム小委員会にて出版される予定である。
- ・小委員会・WG 廃止／設置申請、2014 年活動計画、催し物企画等については回覧にて確認し承認された。
- ・会員外の委員委嘱申請については、資料について一人ずつ説明がなされ承認された。
- ・シンポジウムの実施報告、実施計画について報告を行った。
- ・次期委員長選挙では、環境工学委員長候補として羽山先生を挙げている。
- ・小委員会の予算執行予定を、12 月中に事務局中村氏に連絡すること。

### 3. 委員会、WG 次年度設置申請書および活動報告について（資料 3-4-1～3-4-6）

#### 1) ヒューマンファクターによる環境設計法小委員会（三浦委員、資料 3-4-1、議事録）

- ・小金井先生と半澤先生が抜けられ、ダイキン工業の橋本委員の他、機器メーカー系と制御関連研究者からそれぞれ 1 名ずつ選定する予定である。
- ・活動内容としては、ハード側での事例収集、事例・制御装置、設計ガイドを作成する計画である。成果発表としてシンポジウムを開催する。
- ・設置期間は 2015 年 4 月～2018 年 3 月である。
- ・9/29 第 8 回、11/27 第 9 回小委員会の議事録説明があった。
- ・2015 年 2 月 23 日（月）13:30～17:30 にシンポジウムを開催する。特別講演として行動科学を用いた省エネについて、ケン・ヘイグ（オーパワー日本）を招き講演をいただく。ヘイグ氏は米国の電力会社コンサルで住宅向け電力削減として設備投資なしで 2%の省エネを実現した。若手の参加費を 1,000 円とした。プログラムを今週中に決定する。事前に事務局に連絡の上、最終シンポジウム案は 2/17 の環境工学委員会にて提出。

#### 2) 設計用気象データ小委員会（細渕委員、資料 3-4-2、議事録）

- ・活動内容としてはアメダス気象データの整理をメインに行う予定である。継続して東南アジア、インドネシアの気象データも収集する。シンポジウムは可能であれば開催予定である。
- ・設置期間は 2015 年 4 月～2017 年 3 月である。

- ・ 10/18 開催第 2 回小委員会の議事録説明があった。
  - ・ 情報として、東京の観測地が北の丸公園から皇居内に移った。12 月より気象データが変わり、日最低気温が $-1.9^{\circ}\text{C}$ 下がり平年値の数値が入替わる見込みである。
- 3) 環境設備に関する学会基準 (AIJES-B0002-2011) の実用化小委員会 (森川委員、資料 3-4-3)
- ・ 活動内容としては、これまで 2,000 m<sup>2</sup>以下の事務所を対象としてきたが、病院など事務所以外の用途がすべて計算出来るように計算ツールの拡張を行う。また太陽熱利用に関する知見も整理作成する。
  - ・ 設置期間は 2015 年 4 月~2017 年 3 月である。
  - ・ 会員外委嘱として、落合委員と米山委員が加わる。
  - ・ 10/7 第 6 回、10/23 第 7 回小委員会の議事録説明があった。
  - ・ シンポジウム案が環境工学委員会に提出されていないので、事務局中村氏に提出のこと。
  - ・ ガス料金等変動要素が大きいものについては、インターネットベースで調べられる程度で対応をする。
  - ・ 太陽熱のテーマは元々のテーマが太陽熱であったので、太陽熱も利用出来るツールにする予定である。
- 4) 次世代排水システム適用小委員会 (資料 3-4-4)
- ・ 古賀委員欠席のため資料説明省略。小委員会設置申請書と会員外委員委嘱については配布資料のとおり。
- 5) 環境建築小委員会 (石野委員、資料 3-4-5-1)
- ・ 活動内容としては、環境建築の技術動向、実績データ収集から、設計事例と設計指針・設計データ集を作成する。
  - ・ 設置期間は 2015 年 4 月~2019 年 3 月の 4 年間、2 年で主査・幹事が交替予定である。
  - ・ シンポジウムにて意見交換を予定。
- 6) 環境建築システム刊行小委員会 (石野委員、資料 3-4-5-2)
- ・ 建築設備システムの最新技術・動向を提供する書籍「見る・使う・学ぶ」を刊行し、学生やデザイナー、建築設備実務者、学識経験者など幅広い読者層を設定。
  - ・ 設置期間は 2015 年 4 月~2017 年 3 月
  - ・ 現在目次が出来て、執筆担当者を決定しつつあるところである。出版社は前回のオーム社から技報堂に変わる。
- 7) ファサードと環境に関する電子出版検討 WG (佐々木委員、資料 3-4-6)
- ・ 学会で初めての電子出版に関する課題、条件などを研究・調査することを活動内容とする。
  - ・ 設置期間は 2015 年 4 月~2016 年 3 月
  - ・ 検討の目途が整理ついたら、企画刊行委員会へ移行し出版が出来る状態にしたい。学会内でも電子出版を検討している部署があるようであるが、著作権やスポンサーなどさまざまな障

壁がある。

- ・委員である望月先生は千葉工科大学ではなく、千葉工業大学の所属である。
- ・会員外委嘱として、佐藤委員と杉浦が加わる。

8) 建築設備運営委員会設置申請書について（郡主査、資料 3-4-7）

- ・来年度から主査が赤司先生に変わる。長井先生後任の幹事は未定である。
- ・中野先生、野部先生、本間委員、高井委員はほとんど出席がないので、次年度からは除く。
- ・設置期間は 2015 年 4 月～2025 年 3 月である。

4. 2014 年度第 10 回建築設備シンポジウム実施結果及び 2015 年度開催日程について（資料 3-5-1、3-5-2、参加人数集計表）

- ・参加者は 307 名うち動画配信で 17 名の参加があった。大学からの参加は実は学生が多く、研究教育実務者はそれほどでもなかった。
- ・アンケート調査より、スクリーンが見にくかったこと、パワーポイント資料の事前配布要望があり、次年度どのように対応するかは継続議論を行う。
- ・2015 年度第 11 回建築設備シンポジウムの開催日程、場所は、2015 年 10 月 23 日（金）場所：建築会館ホールで決定した。

5. 2014 年度大会若手優秀発表の選考結果について（資料 3-6）

- ・建築設備運営委員会にて、選考対象の若手 122 名中 12 名の若手優秀発表者が顕彰候補として推薦された。
- ・来年度、環境工学委員会では審査基準を統一化するかは継続審議となった。

6. 2015 年大会 OS 投稿について（資料 3-7）

- ・テーマは「新世代環境建築のシステム技術」となっており、概要を 2 月下旬〆切にて募集を行うこととなった。

7. 次回以降開催予定

2015 年 2 月 17 日（火） 17:00～19:00

以上